

GWST 報告

APNN 国際会議の翌日 7 月 15 日（土）に、「世界で輝け，理系女子！あなたの夢が世界を変える」というテーマを掲げ、STEM 分野の女性科学者技術者が少ない現状を皆で考える取り組み Global Women in Science & Technology (GWST) が盛大に行われた。事前登録 420 名、当日参加者 500 名弱であった。

開会式 10 時からの開会式では、GWST 議長を務めた近藤から GWST の開催趣旨が述べられ、「皆でリケジョを増やすにはどうしたらよいか、今日一日、一緒に考えて頂きたい」との挨拶があったのに続き、公用で



東京薬科大学
笹津備規学長

参加ができなくなった横浜市長 林文子氏のメッセージを副市長の渡辺巧教氏が代読され、「横浜市は、理系女子を増やす取り組みを後押しする」という力強いお言葉を頂いた。東京薬科大学の笹津備規学長からは、薬学の歴史を踏まえたご挨拶があり、それに続いて、協賛企業を代表して日本 IBM コラボレーション & タレントソリューション事業部技術理事の行木陽子技術理事より「グローバル企業で楽しく働こう！」、



横浜副市長
渡辺巧教氏



日本 IBM
行木陽子氏



富士通 中条薫氏

富士通 AI サービス事業本部長の中条薫氏から、「夢をかたちに」と題し、いずれも人工知能 (Artificial Intelligence; AI) に関する最先端の研究を紹介する講演があり、若い世代に STEM 分野で活躍することの喜びややりがいを伝えて頂いた。

議場イベント 開会式に続いて、「研究するって面白い！ - 科学者になった 11 人の物語 (岩波書店)」という本を執筆した、大学に所属する女性研究者によるトークショーと、その後、参加者と一緒にテーブルミーティングが行われた。大学で活躍する研究者の体験談を生で聞き、直接意見交換することで、参加した大学生・大学院生も大いに刺激を受けた。

トークショー「研究するって面白い！」



講演「女性がいないと進まない研究最前線」



続いて、東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙機構・機構長、村山斉先生による「女性がいないと進まない研究最前線」と題する特別講演が行われた。宇宙研究の最先端で活躍する国内外の女性研究者を紹介しながら、女性研究者のアイデアや解析が自分の研究を進める上でも大いに刺激になったことや、時空間的にスケールの大きな宇宙の謎を、アニメを使って、とても分かり易くユーモアを交えながら講演され、立ち見が出るほどの盛況であった。

続いて、横浜サイエンスフロンティア高校の高校生7人が APNN 各国代表者に、「理系科学者として将来活躍するうえで、不安に思っていること、知りたいこと」を英語で質問するイベントが行われ、バングラデシュ、韓国、インド、台湾、ネパール、スリランカの6か国の代表が、学生の素朴な疑問に、自国の事情を説明しながら、一人一人の質問に熱心に答えてくれた。事前学習などをして、質問をしてくれた横浜サイエンスフロンティア高校の高校生7人には、JNWES から賞状と副賞が贈られた。

APNN の各国代表者に聞いてみよう



国際パネルディスカッション



ICWES において連続的に開催されている「世界の女性技術者に聞いてみよう」シリーズ第3回「APNN 代表と考えるワークライフバランス」と称し各国の“ジェンダーフリー”の状況について発表討論した。日本・ニュージーランド・モンゴル・ベトナム・マレーシアの各国代表者が登壇し、約25名の参加者があった。大体は日本と同じような状態であったが、他国と状態が違うのはモンゴルであり、非常に興味深いとの反響があった。参加者はベテランの女性科学技術者が多く、質問も多く出て、活発なやり取りが行われた。

901 会議室 (一社) 日本女性科学者の会 (SJWS) 例会「リケジヨの未来を拓く」が開催され、日本女性科学者の会 SJWS 主催で「リケジヨの未来を拓く」と題したリレートークを実施した。7名の専門や所属、職位の異なる方々(1名は男性)を招き、女子高校生や女子大学生に向けて 1) 研究の内容とその面白さ、 2) 職業としての女性科学者について、 3) 女子高校生大学生へのメッセージ 等について話していただいた。併せて SJWS ロールモデル集を配布した。参加は延べ80名ほどあり、様々な分野の話が聞けたと大変好評であった。

SJWS例会 リケジヨの未来を拓く



902 会議室

日本女性技術者フォーラム メンター部会では、休憩室に「なんでも相談所」を併設した。ブースや他の企画を回ってきた学生たちの思いを整理して言葉にまとめるサポートをしながら、ほっと一息つける場所、本音でゆっくりしゃべれる場所が提供できた。

なんでも相談所



雑談から採用の話になり、セミナーや企業担当者を紹介する例もあった。「夢の木をつくろう！」では、素直に自分のやりたいことや望んでいることをリンゴ&葉っぱの型紙に書き、リンゴの木を模した紙に貼ってもらった。「人生を楽しみたい」、「お嫁に行きたい」など、時代の流れを反映した 50 枚弱が貼られた。

801・802 会議室 「理系の仕事を知ろう」と題して、日頃身近で接することができない職業を身近に感じてもらうためのイベントを、日本女性技術士の会が企画した。18 業種の化学系・技術系で活躍する若手女性科学技術者に、職場の実情を話して頂き、質疑応答を行った。職種によって大きく入場人員が変化した。一番人気のあったのが食品、次が化粧品。機械・材料・建設関係の人气があまり無いことが如実に表れ、若い女性の嗜好を改めて確認させられるものであった。

理系の仕事を知ろう



804 会議室 GWST 開催にあたり共催して下さった企業 17 社から女性技術者研究者 18 人に参加いただき、理系に進んだ理由/その会社を選択した理由/仕事のやりがい/家族の支援について話していただいた。4-5 社ずつに分けて 70 分のパネルディスカッションを 4 回行った。参加者は、第 1 セッション (ライオン、花王、日本ロレアル、東レ)、第 2 セッション (日本 IBM、富士通、日本総研、東芝テック、三菱電機)、第 3 セッション (キャタピラー、コマツ、横河電機、日立製作所)、第 4 セッション (大塚製薬、日立ハイテク、SCSK、IHI) で、参加者はのべ 140 人にあり、満席になるほどの盛況ぶりだった。各回とも高校生 1-5 名、それ以外は大学生と社会人が同数程度であった。「迷ったら理系」と異口同音に断言する先輩たちから、仕事の楽しさ、入社前の印象と実際の仕事が変わった点、博士課程に進学するかどうかの考え方、インターンの選び方などの話を率直にかつ詳細に話してもらえたので、高校生、大学生の満足度が非常に高かった。

企業ではどんな仕事が待っているの？



805 会議室 GWST では、学生にも「リケジョを増やすにはどうしたらよいか？」という問題を一緒に考えてもらい、イベントの企画をお願いした。その中で、東京工業大学の東工大

学生企画 トークショー リケジョの素顔



テクノガールズのメンバーが、学生の間で囁かれる噂の真相を探るべく、「理系女性は有利？不利？」、「理系女性の出産・子育て事情」、「就職とキャリア」の 3 つにテーマをしばり、自分たちで講師を探してトークショー

を企画してくれた。テーマ毎に 3 名ずつ理系の企業や大学で活躍する研究者が登壇し、のべ 84 名が参加した。理系らしい冷静な分析とコミュニケーション力を活かし、柔軟に自分ら

しく研究を続けることの大切さや、博士課程で養った論理的思考力や海外での多様性を認める文化との出会いも貴重な経験となることを学んでくれたようだ。メモを取りゲストに直接質問する方もあり、参加者・企画者の両方にとって、科学者、技術者としての将来を身近に考える、貴重な時間となった。

特別会議室 ここでも理系女子大生コミュニティ凛と理系女子大生団体リケチェン！が「集まれ、理系女子」と題する高校生向けのイベントを共同企画してくれた。企画は3つのコンテンツからなり、進路の決まってい

ない高校生に「学科診断を行ったり、進路を決めている高校生には、希望学科の大学生と話したりできる“学科別にきいてみよう”、有名ドラマに手てくる理系用語を動画で紹介する“ドラマでみる理系”、体験

学生企画 集まれ、理系女子



型の“香水作り”を行い、約70名の参加があった。内訳は、高校生が4割、大学生4割、大人が2割であった。体験型コンテンツを設置することで、高校生だけでなく大学生にも好評だった。「現役理系女子大生と話す機会があまりないので、色々聞けて良かった」と高校生だけでなく、付き添って参加していた保護者の方々にも好評であった。

企業・大学等ブース 議場・レセプションスペースに、19の企業と17の大学・研究機関などがブースを出し、8階には、主催者団体と学生リケジョサークルのブースが出された。終日多くの人を訪れて盛況であった。企業のブース担当の方からは、「大学のブースと近く、とても良い情報交換の機会になった」とのお言葉を頂いた。大学のブースでは、学生が担当してユニークな企画をしているところもあり、人だかりができていた。



アンケート 受付時にアンケート用紙を渡し協力をお願いした。十分周知できていなかったこともあり、回収率 5.5%と思わしくなかったが、高校生、大学生、大学院生、社会人から、ほぼ参加者の比率に合った回答があった。自由に頂いたご意見では、高校生・大学生から「大変参考になった」「リケジヨのイメージが変わった」「自分もやってみたい」「楽しそう」「これから社会に貢献できそう」「思ったより色々な職業があることがわかった」「仕事と生活の両立ができそう」などがあった。社会人のかたからは、「いろいろな方と交流ができてよかった」などの意見が寄せられた。

懇親会 INWES-APNN 国際会議参加者も含めて 130 人余りが参加して、にぎやかに行われた。途中で和太鼓のレセプションも行われ、大喝采であった。APNN 各国代表者と学生との交流も積極的に行われ、最後には一緒にダンスをして交流を深めた。外では花火大会も行われており、夜空に大輪の花が浮かび上がっていた。まるで、GWST の成功を祝ってくれているかのようであった。

後記 当初の予定を上回り 500 人弱の参加者があり、また大きなトラブルも無く、終えることができ、関係者一同、胸をなでおろした。2 年以上準備してきた GWST であったが、参加者から好評をいただき、概ね目的を遂げられたのではないかと考えている。ただ、高校生への働きかけが十分にできなかった点や、開催時期も、高校の事情を良く把握したうえで決めるべきであったなど、反省点もあったが、高校生、大学生、大学院生がほぼ同じ割合で 230 人ほど参加してもらえ、アンケートに学生から寄せられた意見も、GWST の開催趣旨に合致したもので、十分な成果が上げられたのではないかとと思う。また、参加企業・大学等の方々からも「交流の場として有意義であった」との感想が寄せられており、概ね目指していたようなイベントを開催できたのではないかと考えている。本会が無事開催できましたのも、偏に、本イベントをサポートしてくださった企業の方々、一緒に盛り上げて下さった横浜市、後援団体の皆様のお陰であり、改めて感謝の意を表したい。GWST のイベントが最後ではありません。GWST をきっかけとして、今後とも、主催団体をはじめとして、GWST の趣旨を周知し、リケジヨへの取り組みを強力に推進するために、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げ、GWST 報告を閉じる。



GWST 議長
近藤科江